
東北大学陸上競技部

OB・OG通信

2021年No.2 (2021.7)

- ・ 第 74 回東北学生陸上競技対校選手権大会（秋田県営陸上競技場）
 - …対校男子総合7位、対校女子総合9位
 - …佐藤千（3）が男子400mで優勝！全カレ出場権を獲得！
 - …齋藤晃（2）が男子110mHで14”83(-1.1)の部記録！
 - ・ 第 43 回北日本学生陸上競技対校選手権大会（新潟市陸上競技場）
 - …須藤（1）が女子三段跳で11m16(+1.9)の部記録！
-

- ・ 第 74 回東北学生陸上競技対校選手権大会 2～4 ページ
- ・ 第 43 回北日本学生陸上競技対校選手権大会 5 ページ
- ・ 令和3年度第1回部員総会 5 ページ
- ・ 自己ベスト更新者 5～6 ページ
- ・ 今後の予定 6 ページ
- ・ 編集後記 6 ページ

梅雨明けの候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。今号では、第74回東北学生陸上競技対校選手権大会の結果を中心にお伝えします

◎第74回東北学生陸上競技対校選手権大会(6/12~6/14) …秋田県営陸上競技場(秋田)

1, 2日目は曇天、3日目は強烈な日差しのある中での競技となりました。対校男子総合は7位、対校女子総合は9位でした。多くの種目で入賞者を出し、各選手健闘しました。ここでは、入賞した選手の結果とその様子を紹介します。

男子 400m 決勝

1位 佐藤千仁(3) 48"68

スタートから力みなくスピードに乗り、バックストレートはリズムをとって勢いを維持、200m地点でトップに立った。200-300mで他の選手に追いつかれたが、ラストで競り勝ち1着でゴール。前後半差3.5秒と、後半の失速が大きいレースとなった。

女子 400m 決勝

4位 菅田理乃(1) 57"81

1番外側のレーンであり、前半は他の選手が視界に入らなかった。上手くスピードに乗れたものの後半は失速し、ゴール間近で後続に抜かれ4位でゴール。

男子 800m 決勝

4位 千葉琢巳(3) 1'58"32

スタートから2番手の位置でレースを進める。残り300mで集団に抜かされ後方に下がる。最後の直線で2人かわすも、あと一歩及ばず4位でフィニッシュ。

6位 谷口尚大(M1) 1'58"46

集団で200mを28秒で通過。先頭の選手が落とし、200~300mで18秒かかり、300mから先頭に出た。その後600mで集団に追いつかれ、650mで抜かれた。その後続々と抜かれ、6着でゴール。

女子 800m 決勝

7位 阿部柚佳(3) 5'06"38

スタートは良い位置につけ、2週目あたりまで第二集団についた。900m付近から失速し、第二集団から離されその後単独走に。ラスト200mスパートをかけ、7着でゴール。

男子 1500m 決勝

2位 村松兼志(M1) 4'04"33

スタートして集団前方でレースを進める。900m付近までそのままの状態が続く。先頭のペースアップに合わせて付いていき更に別の選手のペースアップにも合わせていく。バックストレートで前2人を抜いてラスト200mで先頭に追いついたが、抜ききれずに最後に離されて2位でゴール。

6位 渡辺喬介(2) 4'08"07

予選は先頭でレースを作り、4着で決勝へ。決勝は常に5~6位をキープし、ホームストレートで1人かわされるも6位でフィニッシュ。

男子 5000m 決勝

6位 牧野雅紘(4) 15'47"40

1000mまでは様子見で先頭集団についていった。1000mから2000mは前に出て集団を引っ張った。その後3500m付近は後ろで足を休めたがスローになったのでその後再び前に出た。その時点で先頭集団は4人となった。そこから集団を引っ張ったのちに4700m付近でスパートを仕掛け後ろの3人を引き離そうと試みたが東北学院大の選手に反応され、前に出られ、ついていけず、そのまま2位でゴールした。

男子 10000m 決勝

6位 脇田陽平(M2) 32'59"13

前半、スローペースとなった大きな先頭集団の前寄りでレースを進めたが、4000m過ぎで山形大の選手と交錯し、転倒しかけるもこらえ、ばらけだした集団の最後尾に着いた。山形大の選手が一人、その後に学院大、仙台大の選

手がペースを上げるも、集団に着くことができず、離れた後に単独走となり、途中で後方から来た福祉大の選手と競り合うが、大きくペースは上がり前との差は縮まらず、そのまま6位でゴールした。

7位 三浦大樹(M2) 33'18"19

序盤はスローとなりペースの上げ下げがあったものの自分のペースでレースを進めた。中盤以降単独となったが大きく崩れることなく最後は後方からの追い上げから逃げ切り7着でゴールした。

男子 110mH 決勝

7位 齋藤晃汰(2) 14"83(-1.1) 部記録

スタートで先行できたが、隣の選手と2~3台目で接触。10台目まで粘るも、最後の競り合いで勝ちきれず惨敗。

男子 400mH 決勝

6位 加地拓弥(M1) 53"95

スタートから走りやハードリングのキレが悪かったが、ほとんどミスはなく前半5台をトップと並んで通過する。しかし、カーブに入ってから一気に足が止まり減速、粘り切れず順位を落とした。6着でフィニッシュ。

女子 400mH 決勝

8位 柄澤菜々美(M1) 1'08"91

スムーズな加速でアプローチ。逆足となる4台目でブレーキ、先頭集団に横並ぶと8台目では30m差に。2レーンとはほぼ同時のレースを運ぶが300m以降の減速で8番手。9台目は抜足を引っ掛けバランスを崩し持ち直すものの順位は上げられず。

女子 4×100m リレー 決勝

5位 柄澤菜々美(M1)伊藤未空(2)菅田理乃(1)村尾愛乃(1) 52"64

1走柄澤(M1)はスタートから順調な走りだったが、1、2走のバトンパス時に少し詰まった。バトンパスの時点では、6チーム中僅差で6位。2走伊藤(2)は1、2走のバトンパス時に他チームとの差が開いた。2、3走のバトンパス時には、他チームのバトンミスにより、5位に浮上。4

位との差はほぼ変わらず。3走菅田(1)は安定した走りで4位に浮上し、3位との差も詰めた。3、4走のバトンパスは問題なく渡った。4走村尾(1)は中盤から後半にかけてピッチが落ち、5位のチームに抜かれた。最終順位6チーム中5位(1チーム失格)でゴール。

女子 4×400m リレー 決勝

4位 小川明音(4)伊藤未空(2)村尾愛乃(1)柄澤菜々美(M1) 4'20"30

1走小川(4)はスタートから内側選手との差をキープし、5レーン福島大学とほぼ同着の先頭でバトンパス。2走伊藤(2)は後半の失速も少なく落ち着いて走りきる。全体の4番手でバトンパス。3走村尾(1)は初出場ながら最後まで粘りを見せ、順位を落とすことなく4走へバトンパス。4走柄澤(M1)は個人種目に続き好調の走りで順位を維持。全体の4着でゴール。

男子 4×400m リレー 決勝

4位 齊藤宥哉(2)八巻隼人(M1)片桐大智(4)佐藤千仁(3) 3'18"46

1走齊藤(2)は前半からスピードにのり外側の大学を追い抜いた。その後もスピードが落ちることなく二番手でバトンパス。2走八巻(M1)は入りの100mでしっかりと加速し良い位置につける。後半では前方の大学と少し引き離されたが粘りの走りを見せて四番手でバトンパス。3走片桐(4)は200m付近までは前方の集団についていき、後半も粘ろうとしたが徐々に引き離された。追い抜かれはしなかったが順位の変動なく四番手でバトンパス。4走佐藤千(3)は前半で2チームに追い抜かれたが、焦らず後半でもスピードにのった安定した走りを見せ抜き返し、4位でフィニッシュ。

男子三段跳 決勝

7位 大木島壮(3) 13m88(+0.8)

1本目 F

リラックスして助走に入り、この試合で1番のホップ・ステップからジャンプ、着地へとつなげた。数cmファールだった点が悔やまれる。

2本目 12m88

自分の跳躍が全くできなかった。特に1本目から風向きが変わり、かつ向かい風が強い状況で助走を始めたためスピードが全くない跳躍となってしまった。

3本目 13m88

絶体絶命の状況で迎え、一層集中して跳躍に臨んだ。踏切で間延びしステップまでは決して満足できるものではなかったが、ジャンプで大きく記録を伸ばし4年ぶりのPB更新を果たし5位で決勝に進んだ。

4本目 13m71

助走スピードをさらに上げ踏切をしたが、力んでしまい固い跳躍となってしまった。

5本目 13m63

4本目と同じく力んでしまい、かつ踏切板を踏まず跳んだため記録更新とはならなかった。

6本目 F

助走スピードはこの試合1番で、踏切4歩前で歩幅を狭くし刻むことでホップに余裕を持たせたが、スピードに負け高さを出せずステップで潰れファールとなり、順位を2つ落とし7位で競技終了。さらなる記録更新のためには、このスピードを保持したまま着地までの一連の動作を行う技術が必要だと痛感し、実現のためにはやはり全助走練習を増やすことが求められると感じた。

男子やり投 決勝

3位 根本大輝(2) 55m64

一投目で記録を残すも二、三投目で記録を伸ばせず暫定4位で決勝投擲へ。最終の六投目で自己ベストの55m64cmを投げ、3位入賞。

女子砲丸投 決勝

3位 畠山千果(3) 10m62

1投目

記録を残すためにスタンディングで投げた。目線が残せず、思ったより記録が悪く、以後グライドに切り替え。

2投目 10m32

右足の回旋がうまくいかず、身体が開きぎみだった。

3投目 10m62

この日最高記録。突き出しのスピードは良かったが、やはり右足の回旋ができていない。

4~6投目(10m51,10m01,10m60)

リリースポイントが後方になっている、グライド後体重移動が完成できておらず腰が引けた投げになっている点が改善点。

女子円盤投 決勝

3位 畠山千果(3) 31m42

1,2投目

腕の振り抜きのスピードが良く、調子のよさを自覚した。

3投目

円盤に回転をしっかりかけること、円盤の傾きをなくすことを意識し、31m33。約3年ぶりのPB更新。

4,5投目

引き続き、円盤の回転、腕の振り抜きのスピードを意識し、2本とも30m超え。

6投目

表彰台が確定したため、安心して挑戦することができた。さらに思いきった腕の振り抜きを意識し、31m42。さらにPBを更新。

◎第 43 回北日本学生陸上競技対校選手権大会(7/3～7/4) …新潟市陸上競技場

東北大学からは多数の選手が入賞を果たしました。入賞した選手を紹介します。

種目	名前(学年)	順位	記録
男子 800m	谷口尚大(M1)	4 位	1'58"19
男子 1500m	村松兼志(M1)	5 位	4'10"27
男子 1500m	金田大輝(4)	8 位	4'11"65
女子 800m	小川明音(4)	5 位	2'20"18
女子 400mH	山崎萌々子(3)	5 位	1'08"19
女子三段跳	須藤桃由(1)	7 位	11m16(+1.9):部記録
女子走高跳	原田萌々子(1)	7 位	1m45
女子 4×100m リレー	須藤桃由(1) 伊藤未空(2) 原田萌々子(1) 山崎萌々子(3)	7 位	51"80
女子 4×400m リレー	山崎萌々子(3) 上條麻奈(M2) 須藤桃由(1) 小川明音(4)	5 位	4'09"19

◎令和 3 年度第 1 回部員総会(5/15) …オンライン開催

コロナウイルス感染症の蔓延を鑑み、オンラインで開催されました。はじめに佐藤部長、彦坂副部長、吉田監督から挨拶がありました。昨年度の活動及び決算報告、次期役員の承認、本年度の活動、予算の審議を行った後、新入部員による自己紹介を行いました。コロナ渦における部としての活動方針を再確認する場ともなりました。

◎自己ベスト更新者一覧(4/1~7/4)

- | | |
|--|---|
| ・男子 100m
倉田 真樹(M2) 11"16(±0.0)
(北日本インカレ) | 大木島 壮(3) 13m88(+0.8)(東北インカレ) |
| ・男子 400m
佐藤 千仁(3) 48"68 (東北インカレ) | ・男子やり投
根本 大輝(2) 55m64 (東北インカレ) |
| ・男子 800m
千葉 琢巳(3) 1'56"53 (東北インカレ) | ・女子 800m
小川 明音(4) 2'16"26 (北日本インカレ) |
| ・男子 1500m
稲川 亮太(2) 4'16"09 (東北インカレ) | ・女子 1500m
阿部 柚佳(3) 5'06"38 (東北インカレ) |
| ・男子 10000m
三浦 大樹(M2) 33'18"19 (東北インカレ) | ・女子 400mH
柄澤 菜々美(4) 1'08"91 (東北インカレ) |
| ・男子 400mH
二ノ神 遼(4) 55"38 (東北インカレ) | ・女子走幅跳
伊藤 未空(2) 5m10(+1.5)
(北日本インカレ) |
| 岡田 幹太(2) 56"45 (東北インカレ) | ・女子三段跳
須藤 桃由(1) 11m16(+1.9)
(北日本インカレ) |
| ・男子走幅跳
西川 亜連(3) 6m52(+2.0)(東北インカレ) | ・女子砲丸投
芦立 美春(2) 7m94 (北日本インカレ) |
| 大谷 航平(2) 6m32(+1.0)(東北インカレ) | ・女子円盤投
畠山 千果(3) 31m42 (東北インカレ) |
| 鈴木 碩通(4) 6m29(-0.2)(東北インカレ) | |
| ・男子三段跳 | |

◎今後の予定

- ・7月31日~8月1日 第72回全国七大学対校陸上競技大会
兼 第32回全国七大学対校女子大会 (京都・たけびしスタジアム京都)

◎編集後記

今シーズン最初の対校戦となる東北インカレが終わりました。コロナウイルス感染症予防の観点から活動が制限され、出場する大会の取捨選択を迫られる中、多くの選手が自己記録を更新しました。北大戦については一度延期を決定したのち、現時点においても開催の目途が立っていない状況です。今後は、七大会代替試合へ向けて部員一同、一層努力して参りますので、応援をよろしく願いいたします。

文責 副務 竹田康人

東北大学陸上競技部三秀会
〒980-0815 仙台市青葉区花壇 2-1
東北大学評定河原グラウンド内
hukumu_tohoku_ob2sin@yahoo.co.jp